

日本生物工学会九州支部 2018年度市民フォーラム

平成30年
7/28(土)
10:00~

豊かな海の恵みと 水産業を支える バイオテクノロジー

参加費
無料

会場：長崎大学水産学部大講義室

主催：(公社)日本生物工学会九州支部
共催：長崎大学水産学部



講演の部 (10:00 - 12:30)

参加申込不要 (どなたでも参加いただけます)

定員
180名

- 10:00 - 10:30 「長崎の伝統水産食品からすみと微生物」 井上 徹志 長崎大学 水産・環境科学総合研究科 教授
- 10:30 - 11:00 「遺伝子編集技術を用いた魚毒結合タンパク質の機能解明」 大嶋 雄治 九州大学大学院 農学研究院 水産生物環境学分野 教授
- 11:00 - 11:30 「人の手による魚の産卵と雌雄のコントロール」 征矢野 清 長崎大学 海洋未来イノベーション機構 教授
- 11:30 - 12:00 「魚類生態系機能の解明に基づく海域の再生」 山口 敦子 長崎大学 水産・環境科学総合研究科 教授
- 12:00 - 12:30 「海藻に含まれる機能性成分:多糖類を中心に」 小田 達也 長崎大学 水産・環境科学総合研究科 教授

実験の部 (13:30 - 16:30)

実験の部への参加は申し込みが必要です (対象：高校生)

※件名「市民フォーラム実験の部参加希望」として、下記の問い合わせ先までメールをご送付ください。

テーマ1



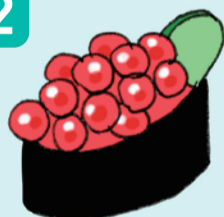
定員
10名

バイオテクノロジーによる
魚の鮮度測定

村田昌一教授と研究室メンバー

[水産学部新館4階 村田研究室]

テーマ2



定員
12名

海藻多糖成分を利用した
人工イクラ作成と海苔の
うまみ成分の分析

山口健一准教授と研究室メンバー

[水産学部新館4階 第5実験室]

テーマ3



定員
12名

海の微細藻類と
生き物の腸内に共生する
微生物の顕微鏡観察

井上徹志教授・山田明德准教授と研究室メンバー

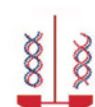
[水産学部新館4階 第5実験室]

※テーマ2と3は同じ実験室で実施しますので、両方の体験も可能です。

お問い合わせ先

長崎大学：小田 達也

Mail : t-oda@nagasaki-u.ac.jp Tel : 095-819-2831



The Society for Biotechnology, Japan

公益社団法人

日本生物工学会